

野生の山菜類の放射性物質検査結果について

県内で採取された野生の山菜(特用林産物)について検査したところ、いずれも基準値以下または検出限界値未満でした。

1 検査結果

採取日	品目	採取地	放射性物質の濃度 (Bq/kg)		
			セシウム134	セシウム137	計
6月20日	たけのこ(マダケ) (野生)	渋川市 (※旧小野上村)	検出せず (<9.42)	12.1	12
6月24日	たけのこ(マダケ) (野生)	沼田市	検出せず (<9.69)	検出せず (<7.50)	検出せず
6月28日	たけのこ(マダケ) (野生)	渋川市 (※旧渋川市)	検出せず (<9.62)	29.4	29
6月28日	たけのこ(マダケ) (野生)	渋川市 (※旧渋川市)	検出せず (<9.96)	38.2	38
6月28日	たけのこ(マダケ) (野生)	渋川市 (※旧渋川市)	検出せず (<9.57)	60.1	60
7月1日	たけのこ(マダケ) (野生)	渋川市 (※旧渋川市)	検出せず (<9.69)	検出せず (<8.23)	検出せず

注1 基準値：放射性セシウムの計 100Bq/kg

2 放射性セシウムの計とは、セシウム134と137を合計し有効数字2桁に四捨五入したものです。

3 「検出せず」とは、同欄下段の()内に記載した検出限界値を下回ったことを示します。

4 分析機関：株式会社 食環境衛生研究所

5 分析機器：Ge 半導体検出器

6 最終検査日(結果判明日)：令和4年7月7日

※ 渋川市(旧渋川市及び旧小野上村に限る)の「たけのこ(マダケ)(野生)」については、出荷自粛が継続されています。

2 今後の予定

今後も引き続き検査を実施します。